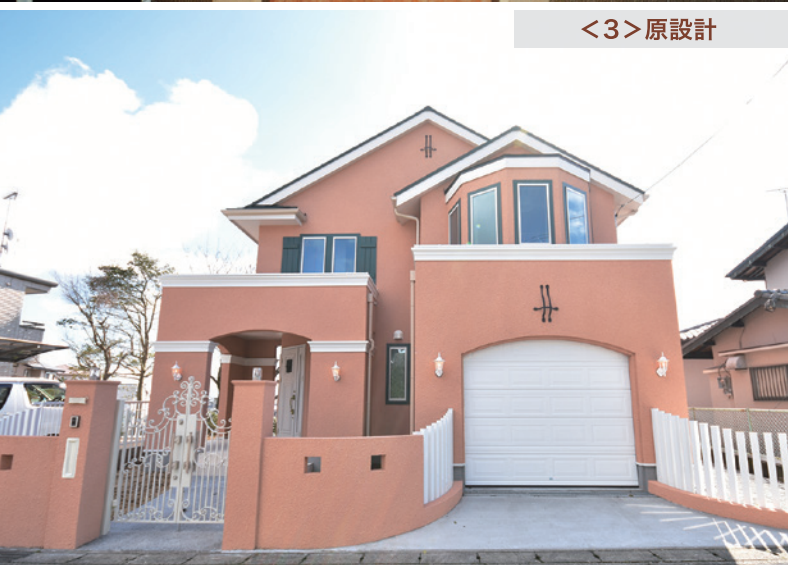


＜写真 1＞ 原設計は落ち着いたベージュ系統の色彩が施された外壁の戸建て住宅。リフォーム案では淡いコーラルピンクの外壁カラーを採用し、明るく若々しさを感じさせるような外観デザインをご提案しました。ピンク色にはホルモンバランスを整え、気持ちを穏やかにし、対人関係をスムーズに運びやすくするという利点がありますので、周辺環境へも良い影響をもたらしてくれます。



＜写真 2＞ 原設計は黄色の塗り壁材で仕上げられた集合住宅。リフォーム案ではパステルオレンジの外壁カラーを採用し、タイルの一部をレンガ張りにすることで、明るさと高級感をプラスしました。白い部材は経年変化での汚れや劣化が目立ちやすいので、10 年単位での修繕の際に大きく変更することで、建物の外観イメージを若返らせることが可能です。＜写真 3＞サーモンピンク系の外壁カラーで明るいイメージの戸建て住宅。リフォーム案ではイエローベージュの外壁カラーを採用し、落ち着いたイメージが高まるようなデザインを施しています。外壁などの大きい面積の色彩を変更することは、住む人の精神面に多大な影響を与えます。その時々で、自分自身やご家族に適した色彩を選ぶことで、より充実した生活を送ることができます。

Feng-Shui Gallery

special edition vol.101

『外壁リフォームを想定した色彩計画 vol.2』

～色彩がもたらす周辺環境の変化～



風水住宅では、経年変化に伴う外壁や外観補修のご提案も行っております。
住宅の外観を大きく変えることで、住まう人はもちろんのこと
周辺環境にも多大な影響を与えます。
見る人の気分を高め、エネルギーが高まるような
デザインにすることが大切です。